

日本海呼称問題に関する最近の情勢

平成31年2月
外務省・海上保安庁

我が国の
基本的立場

- 日本海は、同海域に対する国際的に確立した唯一の呼称。国連を始め、米国、英国、ドイツ、フランス、中国等の主要機関、主要国政府も日本海の単独呼称を採用。

【参考】2004年3月に国連事務局は、日本海が標準的な地名であることを認定し、国連公式文書では標準的な地名として使用されなければならないとの方針を公式に確認。

- 国際社会が現に使用してきている日本海の名称を、韓国国内のみで使用されている「東海」に変更させようとする動きは、国際的慣行を破るのみならず、国際的な公平・中立に反する韓国の不当な主張に国際的な正統性を要求するもの。日本海は国際的に確立した唯一の呼称であり、何ら争うべき余地はない。

IHO

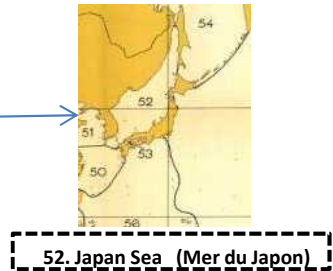
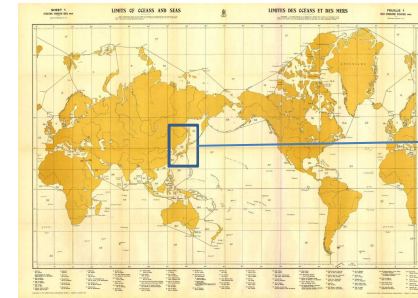
- 国際水路機関(IHO)は、世界の安全な航海の実現に寄与するため種々の技術的・科学的な活動を実施する国際機関。

※89か国・地域(韓国, 北朝鮮を含む)で構成。現事務局長は、マティアス・ヨナス(独)(任期:2017年9月から6年間)。
※我が国は1969年に加盟。以来、我が国の水路機関である海上保安庁等が総会、各種委員会に参加。



S-23

- S-23(「大洋と海の境界」)は、各国の水路機関による、海図作成の便宜を図る目的で作成されたIHOの出版物。
- 現行版(第3版(1953年刊))は、「日本海」と単独表記。
- 1997年、IHO総会において韓国が「東海」への改称(または併記)を主張。



S-23
に関する
非公式
協議

- 前回(2017年4月)のIHO総会で、韓国及び北朝鮮から、現状単独表記となっているS-23の改定等について提案がなされた。

→議論の結果、S-23の改定につき何ら決定等は行われず。

→他方、本件に関する非公式協議が今後IHO事務局長とりまとめの下で開催されることに。(関心国の参加で開催され、次期総会(2020年4月)に結果が報告される方向。)

- 今後、韓国等から現状変更の動きがあった場合は、非公式協議の場で、歴史的な証拠を示しながら、「日本海は国際的に確立した唯一の呼称」との我が国の一貫した立場を明確に主張。